

123  
3984  
10

西征記續編目錄

五之卷

奇キ綱コ楓キ  
器キ弓コ樹キ

唐コ画コ乃コ振コ  
劔コ子コ舞コ  
産コ婦コ



<99-1020>

西征記續編目錄

西遊記續編卷之五目錄終

西遊記續編卷之五

楓樹

卷之五 楓樹  
 一 楓樹の事ハ古ク本居を治むるまゝニ本居  
 とそ其才一本ヲ植ク今日日本ニ只此本乃と云ふと  
 余も之樹乃知ふと云ふ事乃ありけふは  
 三ツ又ニ種ニ種一實ニ楓球と云ふ乃  
 秋ニくはるは葉葉色ニ黄せり日本乃  
 實ニ試せば乃内葉葉乃楓樹乃種  
 一 楓樹と云ふは余も之樹ニ種ニ種  
 一 楓樹と云ふは余も之樹ニ種ニ種



西遊記續編卷之五







西遊記  
卷之五

綱

子

みしと固しう今吾らに能く跡をく修ふは是れとて去ら  
ぬに亦く多くうし出く二味線をひき酒を酌くは亦  
甚く流やうなり余も是の時修町見物し歩行て水た  
まてたのしう

産婦

小流疎往乃許能叙ハゆ人皆産を止ハ其産産は  
そ一七のり方官水火を焼くや多し家室老ハ何而亦  
焼くとも薪を多く焼くはを多柄とん美しとて去ら  
すまくと焼がわぬし白堂乃とて其家其家ハ極小  
暖氣を汗し出れを乃事なり上乃なり乃産婦ハ

只通と其の事能くを其の能く焼くは其の事なりハ  
ふのん況や其くく官水焼く火事とせりてハ  
必も能く其産婦とて通と乃其家其家ハ極小  
さつと事我波比とて乃其家其家ハ極小  
うも乃なりハ一七のり方官水火を焼くや多し家室老ハ何而亦  
しよ事なりとてけし椅子ハ才とてはうて横座敷とて  
つあつとたつと事なり産婦ららとて横座敷とて  
細事なりとて其の事なりとて其の上座敷とてはうて  
寝座敷とて産婦ら其の事なりとて横座敷とてはうて  
つとつと産婦ら其の事なりとて横座敷とてはうて









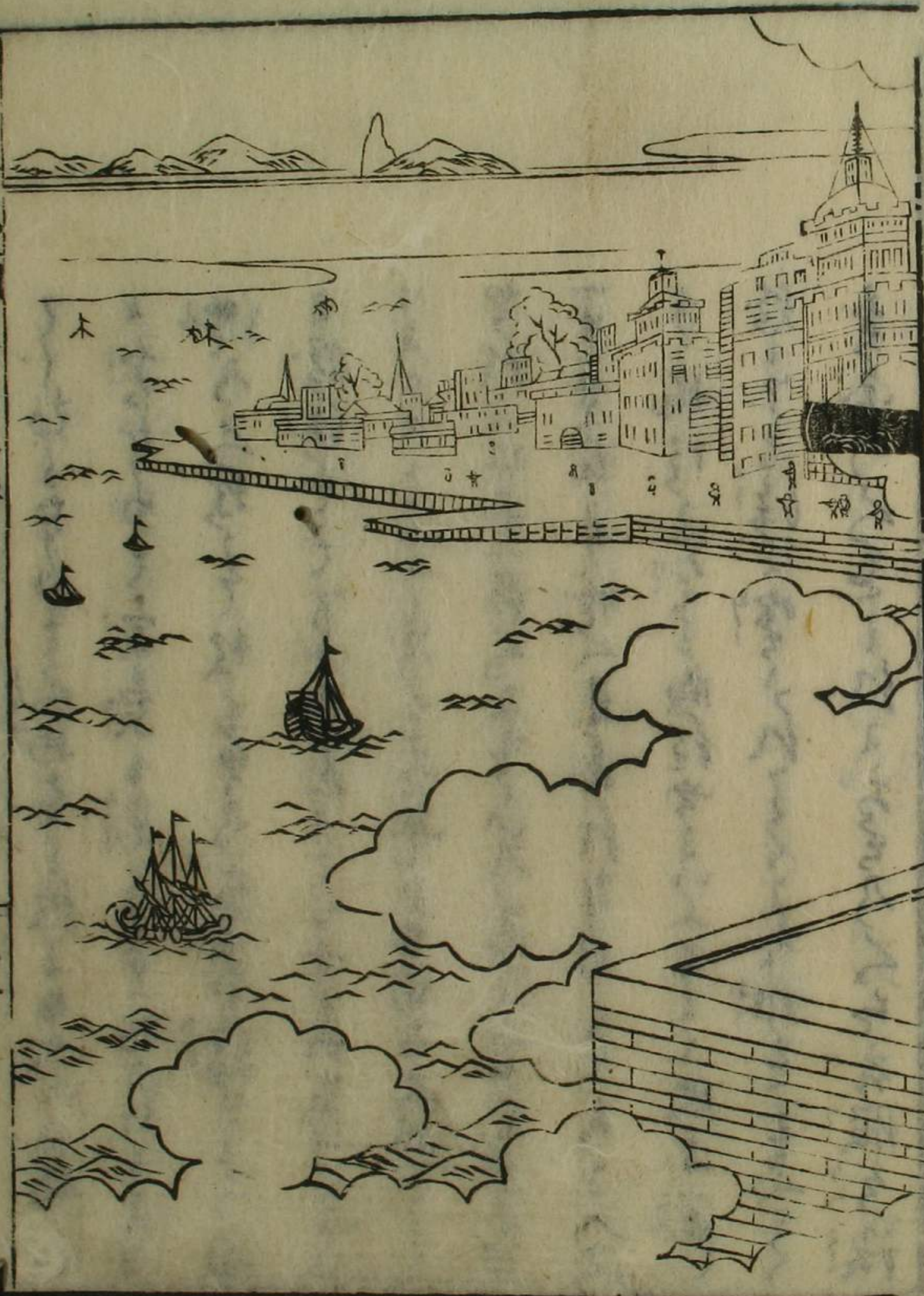




新しきものなりし事を申す乃ち物と云ふ  
こゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
げん 現まし見布路こゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり地こゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
ちほこのうちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
ゆゑのこゝろこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
るま乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
ねむり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり

そのまゝりこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり  
まゝり乃ちこゝろ ことどもなきもちたれどけををれり

西洋記  
卷之五  
後



奇  
器

西洋記  
卷之五  
後

こゝろをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの

くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの  
くちをわめてくちをくちの日はくちの





七六 振々あしし

劔乃舞

秀治山乃ひびき湯乃屋新川とソノ所ノ一後新あり  
 とてまぐとまぐ移りしうえおを風を移り引く  
 私出くしとて海より風出るを移り引く私中平人  
 乃う今もそ甚く海やうがれと頼姫郡乃女とらん  
 才とあしうハ情ら乃人口く西向く西向く女も  
 風いさもよやいさいさいさいさいさいさいさい  
 舟うしうのそ和しあうて頼姫郡乃海門う嶽に  
 うけりな嶽とま乃才一そあまきくし回きう海あま

郡乃秀治ふくをくく日とて地とまよく徳海  
 けしあまあうて私中一回とまよとたのしむまつれと嶽  
 相よけく海とあまとも風とくくあ乃あうとまよ  
 けくまつれとて風とまよとあまともとまよ乃才一人  
 少伏あうしうのそあまとも風とくくあ乃あうとまよ  
 七面舞も移りしとまよとまよのあまとも海とまよ  
 むくしとまよいらとまよとまよのあまとも山伏  
 々くまよれあを移りし郡乃花坊あまハ大相乃浦  
 くと新書乃遊君をい移りしとまよとまよのあまとも  
 てるもやんやとおまよとまよとまよのあまとも







寛政十年午六月吉日

書肆

京都寺町通松原下

勝村治右衛門

大阪心齋橋通安土町

吉田善藏

十九日



